

一般財団法人埼玉県河川公社 中期経営計画 (令和8年度～9年度)

(一財) 埼玉県河川公社は、大場川マリーナ（八潮市）、芝川マリーナ（川口市）の2つの河川マリーナの管理・運営を中心に事業を実施しております。

埼玉県の指定出資法人である当公社は、埼玉県が策定した「指定出資法人改革プログラム（令和8年3月）」の方針に基づき、当公社を廃止し、2つの河川マリーナの事業主体を当公社から埼玉県に移行します。

そのため、令和9年度末をもって法人を廃止することを前提に、法人解散までの令和8年度及び令和9年度については、計画的な経営を進めるため経営計画を策定し、令和10年度は法人解散後の精算を行います。

1 経営方針

当公社は、県民の安全で快適な生活環境を創出するため、県民の河川や水辺空間に対する正しい理解と一層の関心を高め、河川愛護思想の普及を図るとともに、県が進める不法係留対策に協力し、もって県民の福祉の向上に寄与することを目的に、次の方針に基づき経営を進めます。

- (1) マリーナの適正な船舶艇置数を確保し、かつ、業務の効率化を進め、安定した経営基盤を確立します。
- (2) マリーナ事業を核として、県民の河川や水辺空間に対する理解と関心を高め、水辺レクリエーション事業の振興を図ります。
- (3) 県の不法係留対策に協力し、適正な河川管理に貢献するとともに、河川の環境美化にも努めます。
- (4) 河川環境への負荷を低減するため、環境に配慮した施設の管理・運営に努めます。

2 経営目標

経営方針に基づいて、次のように具体的な経営目標を定めます。

- (1) 利用者の視点に立ったマリーナの管理・運営
- (2) 適正な艇置隻数の維持と安定的な収入の確保
- (3) 健全で安定的な財務、法人運営

- (4) 河川や水辺空間に親しむ事業の推進
- (5) 河川環境へ配慮したマリーナの管理・運営
- (6) DXの推進

〈数値目標〉 令和8年度～令和9年度

項 目	目 標
艇 置 隻 数	2 6 8 隻の維持
艇置使用料収入	1 3 2 百万円の維持
体験クルージング等の実施回数	4 回／年

※数字は両マリーナの合計

※艇置隻数は令和7年度月毎の艇置隻数の平均値の268隻とした

(実績)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
艇 置 隻 数	2 4 3 隻	2 6 3 隻	2 7 0 隻
艇置使用料収益	113, 022千円	125, 943千円	133, 584千円
体験クルージング等の実施回数	4 回	3 回	3 回
正味財産期末残高	49, 962千円	66, 181千円	87, 840千円

※数字は両マリーナの合計

※令和7年度は令和8年1月末時点の見込み

3 実施方策

経営目標の実現のため、次のような取り組みを行います。

(1) 利用者の視点に立ったマリーナの管理・運営

- マリーナ利用者のニーズの把握に努めるとともに、マリーナ業務について運営のノウハウを持つ民間専門会社へ委託を行うことで、質の高いサービスを提供します。
- 利用者にとって安心、安全、快適で居心地のよいマリーナを目指し、設備の点検、維持、修繕、更新を適切に実施します。
- 船舶の艇置業務、上下架作業、給油・給水・給電等の供給業務、出入管理、利用者への航行情報の提供を適切に実施します。

(2) 適正な艇置隻数の維持と安定的収入の確保

コロナ禍で屋外レジャーが志向され増加したと考えられる艇置隻数を維

持するため、過年度より取り組んできた方策を効果的に実施します。

- 地元企業や団体等の広報誌、また船舶関連雑誌への取材記事等への掲載を働きかけ、河川マリーナの特性を生かしたPRに努めます。
- ホームページの運営を通じて、マリーナのPRとともに、公社に関する情報を広く発信します。
- 地元市や地元の各種団体等へのPR活動を実施します。
- 艇置使用料や施設利用料の割引などのキャンペーンを通じ、新規利用者の掘起しや利用者サービスの向上を図ります。
- 大場川・芝川マリーナでの総合展示場の運営を継続して行います。

また、マリーナ業務委託先の実施する小型船舶免許講習事業を継続し、免許保有者の拡大を図るとともに、免許取得者のニーズに応えるため、芝川マリーナをレンタルボートの利用拠点として活用し、単なるボート保管場所ではなく広く県民の水上レクリエーションのための施設として認知度の向上を図ります。

(3) 健全で安定的な財務と法人運営

- 常に各支出の見直しを行い、経費の削減に努めます。
- 直面する課題へ取り組み、健全で安定的に組織を運営するため、業務の効率化を図ります。

(4) 河川や水辺空間に親しむ事業の推進

- 県民に身近にクルージングに親しんでもらうため、「体験クルージング」を開催します。
- 地元主催の事業とタイアップし、体験クルージングなど河川や水辺空間に親しむための事業を開催します。

(5) 河川環境へ配慮したマリーナの管理・運営

- ゴミや汚水（燃料、油類含む）の河川への流出の防止に取り組み、万一の事態にも備えます。
- 船舶所有者へ働きかけ、協働して美化も含め河川環境を守る活動に取り組みます。

(6) DXの推進

- デジタルツールによる事務処理の改善を令和7年度に引き続き取り組み、また、出航手続き、上下架予約等について、マリーナ利用者の利便性向上及び、業務の効率化を図るため、適したシステムの導入を検討します。

4 財務計画

(単位：百万円、%)

科 目		令和 7 年度		令和 8 年度		令和 9 年度	
		金 額		金 額	7年度比	金 額	7年度比
当期正味財産増減額		2 1	100	1 5	71	1 3	62
正味財産期末残高		8 8	100	1 0 3	118	1 1 6	133
長期借入金残高		1 0 3	100	9 8	95	9 3	90
	金融機関	0	100	0	—	0	—
	県	1 0 3	100	9 8	95	9 3	90

※令和 7 年度は見込数字

※県の債務保証、損失補償はありません